

# 公立大学法人 神奈川県立保健福祉大学 令和3年度業務実績評価書 (概要版)

# 令和3年度の業務実績に関する評価

## 実施主体

神奈川県公立大学法人  
神奈川県立保健福祉大学  
評価委員会

## 根拠

地方独立行政法人法  
第78条の2

## 評価委員会実施状況

第一回 令和4年7月13日（水）

第二回 令和4年8月3日（水） ※web開催

## (参考) 令和4年度 評価委員会委員

	氏名	所属
委員長	梅原 出	国立大学法人横浜国立大学学長
副委員長	鹿島 勇	神奈川歯科大学理事長
委員	鈴木 智子	公認会計士
委員	竹村 克二	公益社団法人神奈川県医師会副会長
委員	長野 広敬	公益社団法人神奈川県看護協会会長
委員	山田 晃久	株式会社山田債権回収管理総合事務所代表取締役

# 全体評価

令和3年度は、全体として中期計画の達成に向けて  
順調な進捗状況にある。

# 項目別評価

大項目		評価
1	教育研究等の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置	<b>A</b>  中期計画の達成に向けて 順調な進捗状況にある
2	業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置	
3	財務内容の改善に関する目標を達成するためとるべき措置	
4	その他業務運営に関する重要な目標を達成するための措置	
5	自ら行う点検及び評価並びに当該状況に係る情報の提供に関する目標を達成するためとるべき措置	

## 大項目評価

### 1

教育研究等の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置

#### 年度計画を大幅に上回る実績・成果を上げている主な事項

- （社会貢献のうち、産学官の連携に関する項目）熱心な姿勢で取り組んでいる点を評価する。

#### 年度計画を達成している主な事項（一部抜粋）

- 新型コロナウイルス感染症の影響によるオンライン授業への切り替えや病院実習の不足等にも臨機応変に対応し、きめ細やかな指導により国家試験の合格率100%を達成できた点、さらに、シミュレーションラボの導入といった新たな試みに挑戦していることを評価する。
- 研究活動を推進する体制の整備に積極的に取り組んでいる。

## 評価にあたっての意見、指摘等（一部抜粋）

- 新型コロナウイルス感染症の影響による成績評価方法の変更、また、それに伴う評価結果の変化については、課題を分析し、その対応について引き続き検討することが必要である。
- 子どもや老人と接触したことのない今の学生の世代に向けた教授法、コロナ禍でコミュニケーションの機会が減ってしまった学生に向けた教授法についても模索してもらいたい。
- 学術論文等の実績について、著書数などの数値だけでなく、質の評価を実施することが望ましい。
- 科研費申請件数は大学の研究活性度を測るバロメーターとなる。科研費申請件数の増加に期待する。

## 大項目評価

# 2

業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置

### 年度計画を達成している主な事項

- クロスアポイントメント制度の活用等により、常勤職員を充足できていない状況にも教育の質を落とさず対応できた点を評価する。また、クロスアポイントメント制度により、より専門性の高い人材を招聘する尽力についても評価する。
- 複数年契約を採用する等、効率化を進めた業務運営が実現している。

### 評価にあたっての意見、指摘等

とくになし



### 年度計画を達成している主な事項

- 外部資金獲得に向けた各種制度の創設や、令和2年度には科研費の採択率がランクインする等、積極的に取り組んでいる。
- 複数年契約を採用する等の効率化、経費削減及び環境負荷低減の継続的な推進を評価する。

### 評価にあたっての意見、指摘等

- 今後、18歳人口の減少に対応する戦略を立案することも重要であると考えます。

### 年度計画を達成している主な事項

- 地域開放等の有効活用方法について、引き続きの検討を期待する。
- 新型コロナウイルス感染症の影響を考慮した訓練が実施されている点を評価する。
- ユーザー目線を重視したウェブサイトやSNSを通じた積極的な情報発信姿勢を評価する。
- 研修等が着実に実施されているが、形式的な研修実施にとどめることなく、実際の浸透度を重視して、今後の取組みを進めてもらいたい。

### 評価にあたっての意見、指摘等

- 年度計画において「適宜マニュアル等の検証を行う」とあるが、検証の実施状況が読み取れない。時の経過とともに実態と乖離していないか継続的な見直しが必要である。また、個人情報保護に係る講習会について、学生の受講が100%であったことが読み取れない。一方で、教員に対する研修は受講勧奨のみとのことだが、研修実施のみならず個人情報保護の重要性が浸透することが重要であるため、丁寧な実施が必要である。

## 大項目評価 5

自ら行う点検及び評価並びに当該状況に係る情報の提供に関する目標を達成するためとるべき措置

### 年度計画を達成している主な事項

- 自己点検や外部評価の結果を前向きかつ真摯に活用する姿勢を評価する。
- 法人としてPDCAに取り組んでいることが良く読み取れる記載内容となっており、県民の皆様をはじめとするステークホルダーに、積極的に課題の解決に取り組み、成長し、また、社会のニーズに向き合っている様が説明されるようになってきた。

### 評価にあたっての意見、指摘等

とくになし